


サウジアラビア王国			首都	リヤド
 <p>緑はイスラム教の聖なる色で、アラビア語で「アラーのほかには神は存在しない。マホメットは神の予言者である」とコーランの一説が染め抜かれている。文字の下は剣で、聖地メッカを守護する意味をもっている。</p> <p>独立：1932/9/23 英国より 国連加盟：1945/10/24 政体：君主制</p>	国 の 概 要	国土	面積 215 万km ² (日本の約 5.7 倍) アラビア半島の8割を占め、国土の大部分は西高東低の高原で、北部にネフド砂漠、南部にルブアルハリ砂漠が広がっている。硬い岩盤の上に砂礫が薄くのっている土地で、砂漠の中に禿山が連なっていることも特色である。西部には紅海沿いにヒジャーズ山脈が走り、南部では、3,000mに達している。	
		人口	2,460 万人	
		言語	アラビア語 (公用語)	
		通貨	サウジ・リアル	
		気候	海岸部は高温多湿であるが、内陸部は典型的な大陸性の砂漠気候で、夏季には 50℃を超える酷暑、冬季には氷点下になることも少なくない。	
		民族	大部分がアラブ人	
		宗教	イスラム教 100%	
教 育 制 度 の 概 要	学校体系	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 6 年 (5 歳 7 ヶ月～12 歳)、中学校 3 年 (13 歳～15 歳)、高校 3 年 (16 歳～18 歳)、大学 4 年制である。 ・インターナショナルスクールや民族学校 (ブリティッシュ・ジャーマン・コリアン・日本人) がある。 		
	義務教育	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 6 年・中学校 3 年の 9 年間である。 ・その年の新年度開始日までに、満 5 歳 7 ヶ月になる者は、慣習として第 1 学年に入学することができる。就学を希望する子どもの親は小学校入学希望を申請することになっている。 ・大学を除くすべての教育段階で公立(王立)校と私立校があり、どちらに入学するかは親や子どもの選択による。 ・公立校は小学校から大学まで一貫して授業料は無料 (テキストなどが有料の場合もある) である。 		
	日本と比較した教育課程上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・学校年度は 9 月中旬～6 月中旬であるがイスラム暦のためはっきり決まっていない。 ・2 学期制を採っており 1 学期は、9 月中旬～12 月中旬、2 学期は 1 月中旬～6 月中旬となっている。 ・公立校はイスラムの教えに基づき男女別学、別施設、教員 		

	<p>も男女別である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育省より公立私立を問わず全校に、必修科目としてアラビア語、サウディ・アラビアの歴史、イスラム教コーランの音読暗唱が課せられている。 ・公立校では、アラビア語は小学校 1 年生、英語は小学校 6 年生から学ぶ。 ・私立校では学校によって小学校 1 年生より英語・フランス語を学習するところもある。 ・カリキュラムには、イスラム教・コーランの授業が多く取り入れられている。 ・女子校では体育の授業はなく、家庭科が加わり、音楽は男女共にないが、国語の授業の中に歌を多く取り入れている。 ・イスラム教では偶像崇拜が禁じられている関係から、人物像を作ったり、描いたりすることは出来ないが、抽象画や工芸作品は認められている。
義務教育後の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・高校は 16～18 歳の 3 年間で中学校の卒業試験に合格すると高校へ進学できる。 ・大学は全てが王立であり、サウディ国籍であること、高校を卒業していること、その上で志望大学・学部に進学する際は、毎年初夏に行われる全国一斉テストで好成績を収めることが必要となる。政府は大学生を対象に奨学金を支給している。
就学前教育	<ul style="list-style-type: none"> ・義務ではないが、対象は生後 2 ヶ月から 6 歳までで、ほとんどが私立である。費用は施設により異なり、大きめの一軒家や小さめのコンパウンドといったものが多い。ランチなしのところが多いが、ほとんどがスクールバスを持っている。 ・プレスクールと呼ばれ、英語教育・体育教育に力を入れている。 ・就学前にアラビア語の読み書きができていたのは当然という考えがある。しかし、「お受験」や「習い事」の概念はない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・政府が教育の普及に力を入れていることと人々の教育熱があり、ほとんどの子どもが小学校に入学するようになった。教育熱が上昇したのは、高学歴の方が就職に有利になるという状況が、近年の不況と若者の人口増加によって顕著になったためである。 ・あまりにも競争心が無く、経済的にも恵まれすぎているた

		<p>め、危機感が全くといっていいほど無い。学業に対する情熱も低い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部の成績優秀者は宗教家へと成長していくのが国是なので、経済界に進出させたいと思う親は、欧米への留学をさせることが多い。 ・外国人が 15 歳以上の子どもの滞在が認められないので、他国へ行くか、帰国しなければならない。
学 校 生 活	休業期間	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みは 6 月 26 日～8 月 31 日で、ラマダン休暇は 1 ヶ月である。
	学級担任制、 教科担任制等	
	飛び級、落第の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米型教育のため、採用されている。
	教育内容の差異	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての基本はイスラム教で、教義に則った教育課程の作成や授業展開がなされている。
	学校行事の特徴	
	給食	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェテリア形式で、始業前からオープンしている。
	チャイムや号令	
	教室における行動様式 等の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・個人中心だが、教師の指示には集団で従う。特に教師は宗教上の聖職者でもあるので、反抗のみならず、意見等も絶対に許されない。
	校則	<ul style="list-style-type: none"> ・男子はサウジアラビア式のトウヴ、女子は灰色の着衣、さらに校外では黒のアバヤを着用する。 ・社会的ルールとして、イスラム社会の常識に従う。逸脱はアラー（神）が見ているので、許されない。
保護者の授業参観、保護者会、PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・10 歳以上は男性・女性別行動で、娘、息子といえども、異性の親族への参観はありえない。 ・教育は宗教的指導者である教師（聖職者）が行う事業であるので、全面的に信頼しなければならない。 	

	子どもの一日	<ul style="list-style-type: none"> ・朝は 7:00~7:30 頃に登校し、スナックタイムを入れて、午後は 14:00~15:30 頃に下校する。 ・部活動の概念はないので、その後は全くの自由時間である。 ・放課後や木・金にスポーツを特別に習う子どももいるが、イスラム教の習慣は遵守される。(夕方 2 回・夜 1 回の礼拝、金曜日は礼拝日など) ・テレビが普及し、家族団らんの手段として用いられている。 ・夜の礼拝後に家族で街に繰り出し、未就学児が明け方近くまで、親と共に行き来するのを見かける。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の生活と比べると、1 日の生活が非常にゆったりとしているため、生活習慣が慣れるまでには相当の期間が必要と思われる。 ・時間を守るという概念があまりない。(遅刻・待つ)
生活習慣等	言葉の指導面の留意事項	・部族毎に異なるアラビア語を使用しているので、共通語は英語またはイスラム語(コーランで使用されている文語アラビア語)である。
	宗教上の忌避事項	<ul style="list-style-type: none"> ・全てイスラム教に則り、特に大切なのは 1 日 5 回の礼拝で、この時間と機会は尊重しなければ、失礼にあたる。 ・豚と犬は食べない。 ・酒類(味醂も含む)は禁止である。
	指による数え方 計算方法の違い	・暗算が基本のようである。
	食生活	・代表的な伝統料理は、カプサといい、羊の肉汁で炊いたピラフの上に羊の肉をのせ、大皿の周りに車座になって座り、右手でごはんを握って食べる。
	衣服住居の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・男性は部族毎に異なる白装束(呼び名も部族毎に異なる)、女性は 10 歳以上になると黒装束(アバヤ)を着用する。不着用だと宗教警察により注意を受けることがある。 ・男性でも短いズボンをはかず、女性は手首以外が男性に見られるのを好まず、暑くてもミニスカートやノースリーブさえも着ない。 ・昔ながらのレンガづくりの家屋のそばに近代的なショッピングモールが建っている。 ・住居で布団を使用する部族もある。 ・遊牧者(ベトウィン)は戸外に居住し、定住を好まない。
	交通規則の違い	・車は右側通行で、対面信号が赤でも右折することができる。

	<p>制限速度や車線は守られていないことが多い。交通事故はほとんど無い。舗装された道路のそばをラクダがのんびり歩いていることもある。</p> <p>・女性には運転免許は交付されない。自転車の走行も禁止されている。</p>
その他	<p>・日本に対しては、自動車産業やハイテク産業が発達した国、独自の文化を持った国、物価の高い国などといったイメージを持っている生徒が多い。</p>

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・諸外国の学校情報・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・ジュニア世界の国旗図鑑・・・・・・・・平凡社
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・リアド日本人学校（月刊誌「海外子女教育」）・・・・・・・・海外子女教育財団
- ・ジェッダ日本人学校（月刊誌「海外子女教育」）・・・・・・・・海外子女教育財団
- ・日本語指導教員より